

10月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

10月分の販売電力量の合計は、52億8,900万kWh、対前年比93.7%となり、前年に比べ検針期間が短かったことや契約電力の減少などから、前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ検針期間が短かったことや契約口数の減少などから、対前年比92.9%と前年実績を下回りました。

○電力

電力は、契約電力の減少などから、対前年比94.1%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	1,484	1,598	92.9
電 力	3,805	4,044	94.1
合 計	5,289	5,642	93.7

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2 参照）

10月の発電電力量の合計は、61億1,100万kWh、対前年比99.0%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率116.9%の豊水となったことから、発電量は前年を8,200万kWh上回る4億8,000万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を6億3,300万kWh上回る46億6,600万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を300万kWh上回る6,700万kWhとなりました。

（他社受電）

他社発電所の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を4億3,500万kWh下回る16億1,200万kWhとなりました。

(表－２：発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分			当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	455	374	81	121.6
		貯・揚水式	25	24	1	109.9
		計	480	398	82	120.9
	火 力		4,666	4,033	633	115.7
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー 等		67	64	3	103.6
	合 計		5,213	4,495	718	116.0
	他 社 受 電			1,612※	2,047	-435※
融 通			-712※	-369	-343※	192.8※
揚水用動力			-2	-2	0	74.0
発電受電合計			6,111※	6,171	-60※	99.0※
出 水 率			116.9	89.3	27.6	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以 上